

令和元年度 常滑市社会福祉協議会 事業報告

令和元年度における常滑市社会福祉協議会の主たる事業を、次のとおり報告します。

【1】ボランティア活動等育成事業の推進

(1) ボランティアセンターの運営

登録グループ 75グループ 7,411名・個人 21名

(2) ボランティア育成及び団体助成

常滑市ボランティア連絡協議会の育成

(3) 各種ボランティア講座等の開催

市民を対象に各種ボランティア講座や講演会を開催しました。

① 手話奉仕員養成講座 基礎編（手話奉仕員養成事業）

期 間 （昼の部）（夜の部）平成 31 年 4 月～10 月 各全 20 回

場 所 とこなめ市民交流センター、地域活動支援センター

共 催 常滑市（協力 知多地区聴覚障害者支援センター）

受講者 修了者 昼の部 6 名、夜の部 10 名

内 容 手話の入門編を履修した人を対象に養成講座を行いました

② 障がいがある人と地域を結ぶイベント（自発的活動支援事業）

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

(4) 災害ボランティアバスの実施

台風 19 号により被災した地域で災害ボランティア活動を行いました。

日 時 令和元年 11 月 28 日（行先）長野市北部（津野地区）

共 催 知多市社協 参加者 24 名（知多市 11 名、常滑市 13 名）

(5) ボランティア保険の加入促進と助成

ボランティア活動時の傷害及び賠償事故を補償するために、ボランティア保険の加入促進を行いました。

ボランティア保険加入者数 1,188 名

【2】福祉教育の推進

(1) 市内の各小中学校での福祉教育活動へ協力しました。

・福祉実践教室の開催

市内 9 小中学校の児童生徒が車椅子介助、手話等を体験しました

(2) 平和を考える事業の実施

子どもたちを対象に平和の大切さを知ってもらう機会として開催しました。

日 時 令和元年 8 月 5 日（会場）とこなめ市民交流センター

参加者 28 名

内 容 戦争中の生活の紹介や戦争にまつわる絵本の読み聞かせ

【3】社会福祉協議会の広報活動

広報紙の発行やホームページ上で行いました

・広報紙「和の福祉」を令和元年 8 月、令和 2 年 3 月に市内各世帯に回覧しました。

・法人全体のホームページ、また高齢者支援に関するホームページを運営しました。

【4】児童・母子父子福祉の推進

- (1) おもちゃ図書館の開催
おもちゃ図書館ボランティア「ぼっけ」の運営協力により、おもちゃ図書館を開催しました。
開催回数 19回（毎月第1・3木曜日）（会場 とこなめ市民交流センター）
利用者数 延べ 726名
- (2) ファミリー・サポート・センター事業の運営
地域での子育て支援として、地域の会員同士での子育てを助け合う事業を実施しました。
令和2年3月末会員数 128名 元年度延べ活動件数 521件
- (3) 母子家庭等日常生活支援事業の実施
母子家庭等へ生活援助が必要な場合に支援員を派遣する事業を実施しました。
- (4) 養育支援訪問事業の実施
養育支援訪問員（ヘルパーなど）を派遣しました。
- (5) 子ども会活動の支援
常滑市子ども会連絡協議会の事務局として子ども会活動を支援しました。
・地区子ども会数 16子ども会（会員数 1,069名）
・綱引き大会の開催（元年12月8日 常滑市体育館 参加者数 350名）
- (6) 里親ボランティア活動の実施
児童養護施設で暮らす子どもたちを支える里親ボランティア活動を実施しました。
里親ボランティア活動延べ人数 参加児童 30名・参加ボランティア 19名
- (7) 学習支援事業・子どもの居場所の実施
生活保護世帯や母子家庭などの子どもの勉強をサポートするとともに、子どもの居場所として3ヶ所（西之口・瀬木・樽水）を運営しました。瀬木・樽水地区では食事の提供を行いました。樽水では主任児童委員を始め、地域のボランティアも参加し、運営しました。
延べ 110回開催・642名参加
（西之口：44回開催・42名参加、瀬木：44回開催・342名参加、樽水：22回開催・258名参加）
- (8) 放課後児童健全育成クラブの運営
保護者が就労している小学生を対象に放課後や夏休み等に生活・遊びの場を提供しました（主として小学3年生以上の児童を対象）。
・名称 リトルバード児童クラブ（場所）西之口地区（鬼崎北小学校区）
・延べ利用者数 4108名

【5】高齢者福祉の推進

- (1) ひとり暮らし高齢者の昼食会「語ろう会」の開催
・日時 令和元年10月29日～31日 全3回（会場 市民交流センター）
・共催 常滑市食生活改善協議会
・参加者数 延べ 222名
- (2) 敬老の日協賛事業
数え100才以上の方に敬老金（3,000円）を贈呈しました。
- (3) 介護用品購入券（クーポン券・在宅介護応援券）の贈呈
要介護の高齢者や身体障がい者等の方に介護用品購入券を贈呈しました。
●介護用品クーポン券（常滑市より支給）
利用できる方 要介護度4以上の方で市民税非課税世帯に属する方
利用者数 延べ 267名

●在宅介護応援券（社会福祉協議会より支給）

利用できる方 おおむね65才以上の方で要介護2以上の方など

利用者数 延べ 1,255人

(4) 介護用品の貸出

介護が必要な高齢者等の方に車イスを貸出しました。

延べ利用件数 102件

(5) 配食サービスの実施

食事づくりが困難なひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯等の方に、月曜日から金曜日までの夕食をお届けしました。配達には協力員の方にお願いしています。

利用者数 延べ 172名 配食数 延べ 2,869食

(6) 安心見守りサービスの実施

ひとり暮らし高齢者等の方を対象にセンサー等の設置により、24時間体制で日常的な安否確認と緊急時対応を行いました。

利用者数 延べ 854名 緊急対応回数 延べ 15回

(7) 軽度生活援助サービス事業の実施

要介護認定で自立となった一人暮らし高齢者へヘルパーが清掃・買い物等の支援を行いました。利用者数 延べ 12名

(8) 日常生活自立支援事業の実施

認知症高齢者、知的障がい者等で判断能力が不十分な方に福祉サービス利用援助等を行いました。令和2年3月末利用者数 1名

(9) ふれあい活動への助成

地域での自主的なふれあい活動（ふれあいサロン）に対し、活動運営費を助成しました。助成活動数 36ヶ所、延べ参加者数 23,724名

(10) 金婚を祝う会（共催 常滑市）

結婚50年を迎えるご夫婦をお招きし、お祝いしました。

・日時 令和元年11月22日（会場 常滑市役所）

・参加者 金婚を迎える夫婦 31組（申込みは33組）

(11) 地域見守りネットワークの実施

認知症高齢者の行方がわからなくなった際に、登録された地域サポーターへメールなどで捜索協力を呼びかけ、地域での見守りを行いました。

地域サポーター数（メール・ライン・FAX）566名 呼びかけ件数 延べ5件

(12) 老人クラブ活動の支援

常滑市老人クラブ連合会の事務局として老人クラブ活動を支援しました。

・地区老人クラブ数 23老人クラブ（会員数 4,149名）

・趣味の作品展、カラオケ発表会、生きがい活動発表会を市老連と社会福祉協議会の共催により開催しました

(13) 地域包括支援センター（高齢者相談支援センター）の運営

高齢者の総合相談窓口として各種相談・支援、介護予防を推進するため、地域での教室やイベントなどの実施、また認知症に関する理解促進のための各種事業を実施しました。

・延べ相談件数 4,744件

・介護予防事業 延べ153回開催 延べ参加者数 3,469名

・認知症サポーター養成講座 延べ4ヶ所 延べ参加者 317名

・認知症初期集中チーム 対応件数 延べ1件

(14) 介護予防・生活支援体制整備事業の運営（生活支援コーディネーター）

高齢者が自宅・地域で安心して生活し続けられるよう、運動の場やサロン等の介護予防活動と軽易な生活上の手助け（ゴミ出し等）などの生活支援活動を住民とともに推進するため、生活支援コーディネーターを配置し、ボランティアの養成や研修会の開催、また住民向けの講演会を開催しました。

- ・地域ボランティア登録数 172名 延べ活動件数 1066件
- ・市民公開講座の開催

日時 令和元年10月11日・25日
会場 とこなめ市民交流センター(10/11)、南陵公民館(10/25)
講師 音楽健康指導士・歌手 佐藤悦子氏
参加者 10/11 80名、10/25 60名

(15) 地域安心生活検討会の実施

各小学校区等の民生委員、高齢者サポーター、老人クラブ、大学などの研究者、地域包括支援センター等とともに地域の高齢者が抱える課題解決に向けた検討会を開催しました。

- ・共催 常滑市
- ・地区 三和小学校区、鬼崎北小学校区、大野小学校区、鬼崎南小学校区、瀬木・奥条地区、市場・山方・保示地区、西浦北小学校区、西浦南小学校区、小鈴谷小学校区 延べ29回開催 延べ760名参加
- ・取組み内容（各地区）

地域の課題の検討や高齢社会についての啓発イベントの開催や地域での認知症啓発の取組みを行いました。

- ・地域交流イベント開催→大野小学校区、鬼崎南小学校区、西浦北小学校区
- ・認知症啓発イベント開催→三和小学校区、瀬木・奥条地区、西浦南小学校区

(16) 高齢者健康づくり支援事業（スマイルポイント）の実施

高齢者の健康づくり（介護予防）を推進するため、運動やボランティア活動へ参加した際にポイントが付き、貯まると商品券と交換する事業を実施しました。

- ・登録者数 4,203名
- ・登録団体 250団体（運動系 166団体、ボランティア系 84団体）

(17) 地域の居場所運営（大野地区）

大野地区の旧「はっぴい広場」にて地域の高齢者などが気軽に立ち寄れる居場所を月3回開催し、介護予防事業や交流事業を実施しました。

延べ開催回数 23回 延べ利用者 303名

(18) 認知症に関する啓発事業

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

(19) 小規模の交通過疎地への移動支援事業の実施

青海町、桧原地区、小鈴谷地域において住民等とともに移動支援事業を試行的に実施し、必要性等を検証しました。

①青海町

期間 通年
内容 青海ボランティア隊が実施する「青海無料バス」へ車両の貸し出しや経費の一部負担等を行いました。

②桧原地区

期間 平成31年4月～5月、令和2年9月～11月

内 容	南部包括支援センターやサンレータクシー等と協力して、桧原地区の高齢者をイオンや病院等へ送迎しました。
利用者数	延べ 111 名
③小鈴谷地域	
期 間	令和 2 年 1 月～2 月（3 月は新型コロナの影響により中止）
内 容	大谷から坂井までの高齢者を対象に今後路線バスに乗る機会をもつていただくようイオンまでバスで送迎しました。
利用者数	延べ 66 名

【6】障害福祉の推進

(1) 障害福祉サービス（地域生活支援事業）の実施

障害者総合支援法での障害福祉サービスとして、また地域生活支援事業として次のサービスを実施しました。

- ・居宅介護事業・移動支援事業
- ・ワークセンターかじま（就労継続支援 B 型）※定員 46 名
- ・デイセンターおおそ（生活介護事業）※定員 50 名
- ・グループホームなかい（なかい、さくら）※定員 9 名
- ・ケアホームこころ（こころ、えのきど、そよかぜ、大地）※定員 19 名
- ・相談支援事業 ※延べ相談件数 6,536 件
- ・日中一時支援事業 ※定員 15 名
- ・地域活動支援センター ※延べ利用者数 2,718 名

(2) 外出支援サービスの実施

車イス等で外出する方の手助けとして、車イスのまま乗車できる福祉車両での送迎と、福祉車両の貸出を行いました。

利用者数 延べ 97 人 利用件数 延べ 1003 回
車両の貸出し 延べ 68 件

(3) 心身障害児者歯科保健指導の開催

常滑市歯科医師会にご協力をいただき、障がいをもつ方の歯科健診、歯みがき指導等をデイセンターおおそで開催しました。

協力団体 常滑市歯科医師会 参加者 34 名

(4) 声の広報の制作

ボランティアグループ「テレッコ」の協力により、常滑市広報紙「広報とこなめ」を朗読し、録音したものを視覚に障がいのある方のために制作しました。

制作回数 11 回

(5) 自殺予防対策事業の実施

地域での自殺予防事業として、相談事業や啓発活動などを行いました

相談件数 延べ 46 件

啓発事業 パンフレットの配付などの啓発活動

※講演会などの啓発事業は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

【7】社会福祉事業の啓発（会員募集）

市内各世帯のみなさまを始め、各団体、事業所等のみなさまよりご協力をいただきました。お寄せいただいた会費は福祉活動に活用しました。

会 員 数	実 績 額
13,231 名	4,024,100 円

【8】相談事業（心配ごと相談）の実施

民生児童委員や弁護士が法律や日常的に起こる様々な相談に対応しました。

開設場所 とこなめ市民交流センター

開設日数 24 回（毎月第 2・4 火曜日 午後 1 時 30 分～3 時 30 分）

相談件数 14 件

【9】生活困窮者支援活動・資金貸付事業

（1）生活困窮者自立支援相談事業（くらし・ひきこもり相談支援センター）の実施

生活に困窮している方、長期間働いていない方、ひきこもりの方などの生活相談や支援を実施しました。

・相談者数 新規相談者実人数 57 名

・社会的に孤立した方への生活・就業支援事業

長期間働いていない方や引きこもっている方などを対象に就労体験として延べ 395 名が清掃業務や農作業での補助業務を体験しました。

・ひきこもり支援（居場所の運営）

市民による支援ボランティアグループ「わたげの会」により、樽水地区において、当事者やその家族が参加できる居場所運営を行いました。

延べ開催回数 21 回、延べ参加者数（ボランティア含む）206 名

（2）行路者援助

市外へ移動する旅費などが無い方へ貸付・援助しました

（3）資金貸付事業

一時的な生活費の貸付や学費等を目的とした貸付を行いました

緊急援護費貸付 41 件 生活福祉資金貸付 11 件

（4）フードバンク事業の実施

企業や農家の方等から使用されない食料を引き取り、福祉団体や施設を通じ、生活困窮者支援や団体の活動に活用しました。

延べ取扱い食品量 36.2 トン（金額換算 2172 万円相当）

【10】福祉団体活動支援

（1）助成金の交付など

身体障害者福祉協会、遺族連合会、手をつなぐ親の会、BBS 会、半田人権擁護委員会常滑地区委員会、NPO 法人とっこへ事業助成しました

（2）遺族会活動の支援

常滑市遺族連合会の事務局として遺族会活動を支援しました

【11】収益事業の経営

活動財源確保のため、常滑競艇場等で売店経営を行いました。

・常滑競艇場内売店（1 号食堂、4 号売店、自販機コーナー）

・各公民館など市内公共施設での飲料水自販機の設置

・障がいのある人の働く場として（市役所食堂、競艇場内 3 号・6 号食堂）